

## 温室効果ガス削減計画

## 1 事業の概要

## (1) 事業所の名称

三菱電機株式会社 福山製作所

## (2) 事業所の所在地

広島県福山市緑町1番8号

## (3) 業種

2914 配電盤・電力制御装置製造業

## (4) 事業所位置図

別紙のとおり

## 2 計画の期間

本計画の期間は、平成 25(2013) 年度を基準年度とし、令和 3(2021) 年度から令和12(2030) 年度までの 9 年間とする。

## 3 計画の基本的な方向

三菱電機グループは、「たゆまぬ技術革新と限りない創造力により、活力とゆとりある社会の実現に貢献します」という企業理念の下、サステナビリティの実現への貢献を経営方針の一つとして明示し、「持続可能な地球環境」と「安心・安全・快適な社会」の実現を目指します。気候変動、資源枯渇、生物多様性の損失をはじめとしたさまざまな環境問題の解決に向けて、環境貢献を三菱電機グループとして取り組むべき最重要課題の一つと位置づけます。

## 気候変動対策

- 優れた省エネルギー製品・システム・サービスや再生可能エネルギー事業の推進、普及に努め、ステークホルダーの皆様とともにグローバルに温室効果ガスの削減に貢献します。
- 脱炭素に向けた国際的な流れを尊重し、設計・開発から原材料の調達、製造、販売、流通、使用、廃棄に至るまで、バリューチェーン全体で温室効果ガス排出の削減を推進し、2050年の排出量実質ゼロを目指します。
- 地球環境の変化を監視し、自然災害のリスク最小化に貢献するソリューションを提供します。

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO <sub>2</sub> ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和3（2021）年度
二酸化炭素	18,296	9,967

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO <sub>2</sub> ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和3（2021）年度
二酸化炭素	1	1

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO <sub>2</sub> ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和3（2021）年度
メタン	10	12
一酸化二窒素	17	11
その他 温室効果 ガス ( HFC PFC SF6 NF3 )	0	0

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成25 (2013) 年度)		削減目標		目標年度 (令和12 (2030) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	18,296	50.0	9,150	9,146	
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	1	100.0	1	0	
メタン	10	120.0	12	-2	
一酸化二窒素	17	64.7	11	6	
その他 温室効果ガス				0	
温室効果ガス 実排出量総計	18,324	50.1	9,174	9,150	
温室効果ガス みなし排出量	18,324	-	6,429	2,721	
目標設定の考え方	エネルギー起源CO <sub>2</sub> ：2021年度実績から毎年1%削減 その他：現状維持 みなし排出量：2030年度 再エネ比率を30% 電気は中国電力株の実排出係数を使用				

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 ( ) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 ( ) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>				#VALUE!			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	電気の使用量を毎年1%削減	高効率機器の導入（LED、変圧器、空調他） 製造職場による改善活動 フリークーリングの導入
2		購入電力を2%削減	太陽光発電設備の導入
3	燃料使用量の削減	都市ガスの使用量を30%削減	蒸気使用設備の電化 蒸気ボイラ更新時の配管長短縮
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1	中国電力(株)再エネ特約	2022年度より導入 電気使用量の4%
2		
3		

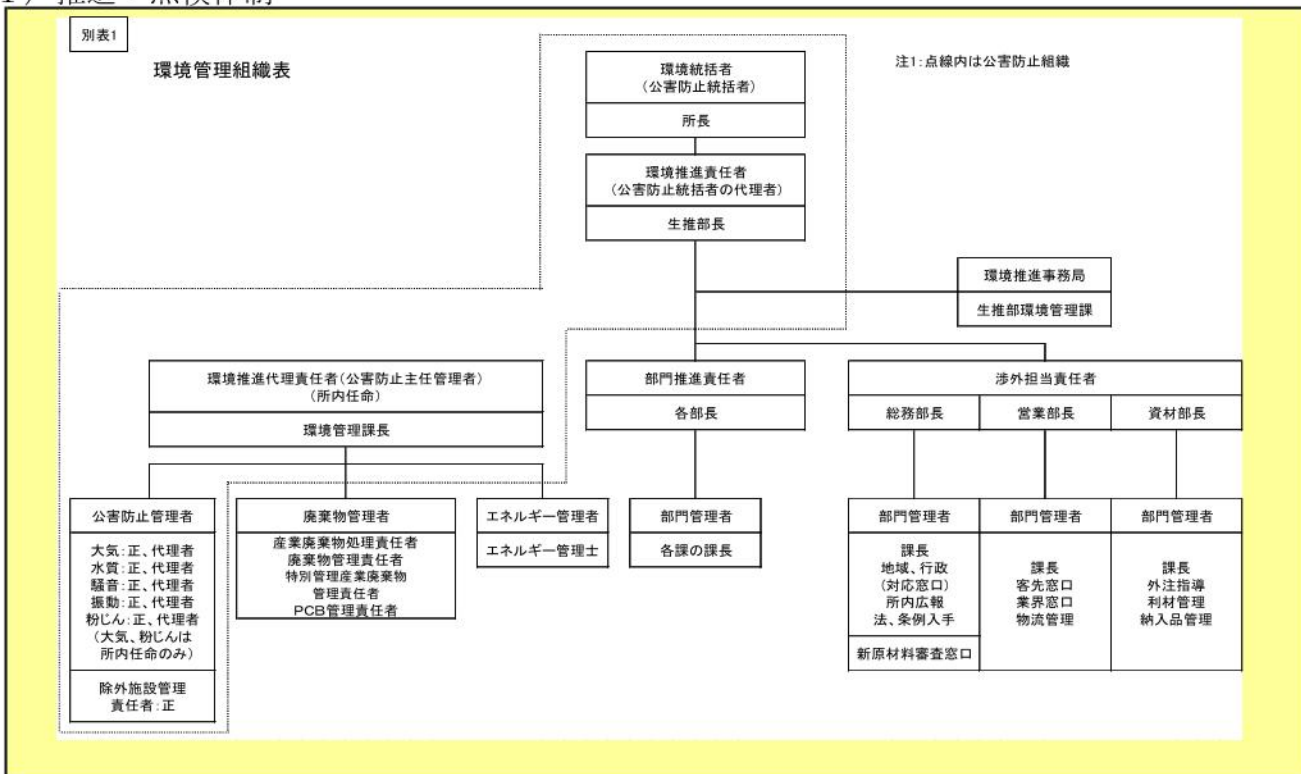
### ○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	里山保全活動	-	植樹等（1回/年）
2	工場周辺の清掃	-	工場周辺・河川の清掃（2～3回/年）
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

環境マネジメントシステムが規格の要求事項を含め、環境管理の計画に適合しており、当事業所全体および各部門で継続的かつ有効に運用されていることを確認するために、年1回および環境側面変化に応じてその都度、『内部環境監査規程』に基づき環境監査責任者が実施する。

### (3) 計画書等の公表

製作所に備え付けて閲覧